

Athletes with an amputation know that behind them is the dedication, passion and expertise of a great prosthetist

義肢の競技者たちは、献身的で情熱を持った、偉大な義肢装具士たちに支えられています。

2012年9月8日

Ottobock technical service team for the London 2012 Paralympic Games includes 50 prosthetists

2012年ロンドンパラリンピック、オットーボックの修理サービスチームには50名の義肢装具士が参加しています。

パラリンピックスポーツならではのユニークな特徴は、全ての義肢競技者には、バックでサポートする義肢装具士がおり、コーチと同様に重要な役割を果たしていることです。義肢装具士は選手が使用する義肢の機能や快適性に対して責任があり、それらをメンテナンスするだけでなく、常にチャレンジしているのです。大会9日目に行われた男子100メートル走-T42（大腿切断クラス）で金メダルを獲得したドイツ人スプリンター、ハインリッヒ・ポポフ選手の膝継手の開発に関わったオットーボック・ヘルスケア社の義肢装具士、ジェンズ・ノースマンは技術者と選手の間を繋ぐ関係を上記のように説明しています。

また、同じくポポフ選手を担当するオットーボック社の義肢装具士、ティノ・ハートマンは「選手と義肢装具士の間には確かな信頼が必要です」と語り、「義肢装具士は、選手と二人三脚で取り組む必要があります。私も義肢装具士として、ポポフ選手の走行テクニックや身体の調子、ダイエットやトレーニングによって変化する断端部分に合せ、彼の義足を常に調整しています。義足が快適かつ最高のパフォーマンスを生み出すことができるように、彼が走っているビデオを何時間も見てきました。私たちは5年もの間、一緒に活動してきたので、ポポフ選手がトップでゴールを通過するのを見た瞬間、誇りと熱い思いがこみ上げてきました。夢が本当に実現したのです。」とその喜びを表現しています。



男子100メートル走-T42（大腿切断クラス）
右から3人目が金メダルを獲得したハインリッヒ・ポポフ選手



彼を担当した義肢装具士、ティノ・ハートマン（中央）と開発チームの義肢装具士、ジェンズ・ノースマン（左）と祝杯をあげるハインリッヒ・ポポフ選手

オーストラリア人のキャメロン・ワードは銀メダルを獲得したスコット・ラードン選手の義肢装具士です。「選手が限界に挑戦し続けるのを見てると、選手との強い感情的な絆が生まれます。義肢装具士である私たちは裏方の仕事をします。騎手にとって馬が必要であり、レーシングドライバーにとって車が必要なのと同じように、切断者は義肢なくしては競技ができません。ソケットの適合を完璧にし、膝継手のアライメント（位置合せ）を最適な状態に調整し、選手が最高の状態で競技ができるようにすることが私たちの仕事であり、それが私たちの誇りなのです。」

ドイツ人のティノ・ハートマンとオーストラリア人のキャメロン・ワードはオットーボック・ヘルスケア社の 80 名の修理サービスチームの一員としてパラリンピック会場で義肢、装具、車いすの修理作業にあたっています。ティノはまた、オットーボック社のコミットメントの一つである義肢の技術レベルを向上させる教育やトレーニングを行うために世界を飛び回っています。

「我々の技術者たちの活躍はオットーボック社のオペレーションとパッションの中核をなしています。技術者たちが持っている知識とケアに関する能力は非常にユニークなものです。パラリンピック大会のような国際的な舞台においてばかりでなく、世界中の切断者の日常生活をサポートするという彼らの重要な役割を大変誇りに思っています。オットーボック社は 1988 年からパラリンピックの競技者に修理サービスを提供してきました。これからも、競技会場の中だけでなく競技を離れた場所においても、多くの選手の成功をサポートし続けてゆきたいと思えます。」とオットーボック・ヘルスケア社の CEO であるハンス・ジョージ・ネーダー教授は語っています。

2012 年パラリンピック ロンドン大会において、オットーボック・ヘルスケア社は義肢、装具、車いすの公的な修理サービスプロバイダーとしてサービスを提供しています。パラリンピック村内には 6,500 平方フィート（約 600 平方メートル）のメイン修理センターを設営、9ヶ所の競技会場のすぐ隣にも修理ワークショップを設置し、修理サービスを行っています。各国から志願してやってきた義肢装具士、車いす技術者、12 名の溶接の専門家からなる 80 名の修理サービスチームが 4,200 名の参加選手をサポートしています。修理チームは 18 ヶ国の技術者で構成されており、14 の言語でコミュニケーションが可能です。本日だけで 100 人の選手から 158 の修理サービスの依頼がありました。

全ての参加選手は、競技の前または競技中に、オットーボック社の専門家に自分の機器をチェックしてもらったり修理を受けたりすることができます。カーレースにおけるピットインのサービスと同じように、使用している機器の修理、メンテナンスを直ちに行い、一刻も早く選手が競技に戻れるようにするために、修理サービスチームが競技会場の隣で待機しています。

オットーボック ヘルスケア社について

オットーボック社は人々が失ったモビリティ（運動機能）を取戻し、再度自立できるようサポートする為に、高品質で革新的かつ実践的なソリューションを提供する世界的なリーディングカンパニーです。モチベーションとスキルを持った専門家チームにより、適切なアドバイス、製品販売、サービス、サポートを提供しています。オットーボック社のソリューションは身体的な快適さ、自信、個々人のモビリティをさらに高めてゆきます。オットーボック社の目指すものは、最新のテクノロジーと最先端の製品、サービスにより、お客様に可能な限り最良な成果を提供することです。

オットーボック社は 2012 年ロンドンパラリンピック競技大会において義肢、装具、車いすのテクニカル修理サービスを提供する公式プロバイダーです。1988 年からパラリンピック競技大会のパートナーとして 30 年以上、スポーツやリクリエーションに参加する障害を持った人々をサポートしてきました。また、オットーボック社は 2005 年から国際パラリンピック協会との契約により、パラリンピック活動の公式なワールドワイド・パートナーとなっています。

詳細なプレス情報や写真のご希望、ストラットフォードのパラリンピック村にあるオットーボック社のメイン修理サービスセンターへの取材予約は下記までご連絡ください。（修理サービスセンターへの取材はアクレディを取得しているメディアの方に限られます。）

Charlotte Rowland / Jon Wilcox Media Safari T: +44 (0)1225 471202 E: Ottobock(at)mediasafari.co.uk	Anna Parisi Manager – PR and Partnerships London 2012 Paralympic Games Ottobock Healthcare T: +44 (0)7584 162563 E: anna.parisi(at)ottobock.com
---	--

また、下記にご連絡をいただけましたら、ロンドンの現地スタッフと連絡をとり、取材の予約や資料の提供などのご協力をさせていただきます。

オットーボック・ジャパン（株）赤松、樋詰、佐竹
TEL:03-3798-2113 E-Mail: ottobock@ottobock.co.jp